

小学生のクラブ活動を支えるため、社会体育移行に伴う

指導者・サポーターを募集します

▼申し込み・問い合わせ先 生涯学習課 スポーツ振興班  
(御代志市民センター)  
☎(242)1190

部活動がなくなり社会体育へ移行

平成27年3月に県教育委員会より「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」が出されました。それにより、これまで学校の先生などが中心となって教えていた「運動部活動」を平成30年度末までに全小学校で「社会体育」へ移行します。社会体育とは学校ではなく、地域が主体となって運営していく体育活動です。社会体育の一つとしてスポーツクラブへの加入があります。スポーツクラブには民間のスポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブなどがあり、それぞれの活動方針は異なりますので、子ども自身のスタイルに合ったクラブを選択していく必要があります。

指導者やサポーターで地域がカバー

基本的に学校の先生の関わりがなくなるため、保護者を含む地域の皆さんの運営や指導、サポートが不可欠で

す。また、小学校の部活動のコーチとして携わっている人たちも平日の放課後、すぐに指導することが難しいという現状があります。そこで、本市では「京志市小学生クラブ指導者バンク」を設置し、指導者と指導者を探している小学校をつなぎます。また、放課後すぐに指導者が出られない場合のサポートも必要となります。そこで指導者が出てこられるまでの間をつなぐ「台志市小学生クラブサポーター」も同時に募集を行います。

子どもたちのクラブ活動に協力可能な地域の皆さんにご登録していただきますようお願いいたします。詳しくはホームページでも掲載します。(登録用紙はホームページより印刷してください)

●募集種目

軟式野球、サッカー、ミニバスケットボール、バドミントン、音楽、百人一首

人権教育シリーズ 35

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。(1)では、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

未来を拓く

心豊かな人材を育むために

市教育委員会では、「未来を拓く、心豊かな人材を共に育む」を教育基本テーマに様々な取り組みを推進しています。

重点取り組みの一つが、「アメニティ教育環境を創造し、潤いのある学校づくり」です。安心して学べる教育環境づくり、「ほめる」教育と「わかる」授業の実践、「あいさつ」「返事」「靴そろえ」の徹底、「ことは教育」の推進、「アメニティ標語」「ことのは作品コンクール」に関する指導の充実の5つを中心に取り組んでいます。子どもたちが将来に夢と希望を持ち、居場所と出番のある学校づくりを進めていくためには、豊かな人権感覚を身につけることが大切です。自分の思いをきちんと伝えることができ、相手の思いも受け止めることができることは、いじめをなくしていく力にもなります。各学校では、人権教育の視点に立ったアメニティ教育環境が日常的に進められています。毎年設定される人権教

育月間等をはじめ、同和問題や水俣病をめぐる人権、ハンセン病回復者等の人権など、様々な人権問題の解決に向けた人権学習を学校や学年の実態に応じて行なっています。各学校、授業参観等の機会を通して、こうした取り組みの一端を紹介し、保護者・地域住民の啓発にも努めています。学校での子どもたちの学びをきっかけとして、ご家庭でも話題としていただくことで、さらなる学びの深まりが期待できます。

更に、同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する教職員の基本的認識を一層深め、実践的指導力を高めていけるよう、関係機関と連携した教職員研修等も行っています。

市教育委員会では、今後も全ての教育活動の中で、人権教育の視点に立ったアメニティ教育環境づくりを推進していきます。(学校教育課)

※アメニティ教育環境：子どもたちを認める、ほめることを推進し、笑顔あふれる快適で心地よい学校環境、いじめや不登校のない学校環境。



コミュニティバスを紹介します

●運賃 大人150円 小学生以下80円

バスは始点と終点を往復しています。始…始点 終…終点 ※「野々島～植木間」「上生～泗水間」で予約型乗り合いタクシーも運行しています。詳しくはお尋ねください。

乗り合いタクシー



- 後川辺線 (A) 始 孔子公園 終 飯高山公園  
・運行日…火・木・土曜日  
・便数…1日2往復
- 合生・上生線 (A) 始 孔子公園 終 再春荘病院 (復路は高江まで)  
・運行日…火・木・土曜日  
・便数…往路1便、復路2便
- 合生・御代志線 (B) 始 黒松公民館前 終 再春荘病院  
・運行日…火・木・土曜日  
・便数…1日2往復



レターバス

始・終 辻久保  
左回り・右回りの2台で市内を広く環状運行  
・運行日…毎日  
・便数…平日 6便 土日祝 5便



循環バス

- 須屋線 始 みずき台 終 再春荘病院  
・運行日…火・木・土曜日  
・便数…1日2往復
- 日向・新迫線 始 日向橋 終 ユーパレス弁天  
・運行日…火・木・土曜日  
・便数…1日2往復

※路線図や時刻表を掲載したガイドマップを市役所・支所で配布しています。



素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会 委員 坂本 高繁

先日、娘とショッピングモールのランドセル売り場の前を通った時のことです。

小学校入学前にランドセルを選ばしてきた女の子とその父親と思われる男性との会話で、女の子が「黒色のランドセルが欲しい」と父親に話すとその男性は「黒のランドセルは男の子用だから赤色にしておきなさい」と諭すように女の子に話していました。

そういえば、私が小学校入学前、店にランドセルを選びに行った時も祖母から同じ内容を言われたことを幼いながらも記憶しています。

しかし、当時は「男は黒、女は赤」という概念が当然の時代でしたので特に疑念も抱きませんでした。

現在の男女共同参画の観点から見れば、これまで当然と思われてきた概念、例えば「男は仕事、女は家事」「これは男の仕事、これは女の仕事」というようなことも女性の社会進出により、認識や環境も変化してきました。

性別にかかわらず、相手のことを思いやる心を持ち、喜びも責任も分かち合いながら、自分を変え、常に向上心をもって、地域、社会へ参画できるような社会を目指すためには、「男が、女が」の垣根を取り払うことが大事だと思います。まず私たち親の世代が子どもたちの模範となる正しい認識をもって子どもに接することで後世に受け継がれていくのではないのでしょうか。

